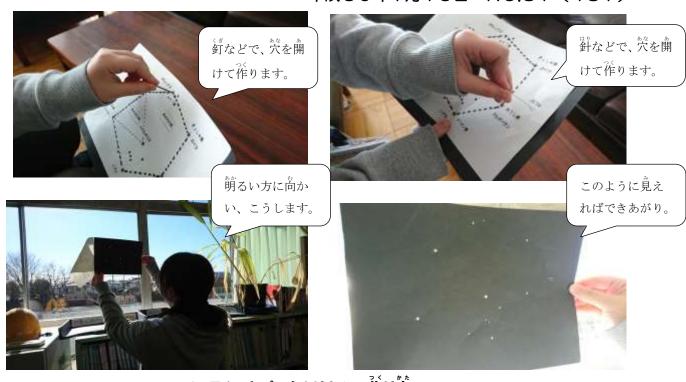
## 的机冷電影攤奶燃料電低低

国立市立国立第七小学校 平成30年1月15日 NO.87(487)



## インスタントプラネタリウムの作り芳

オー君 「あれあれ?4年2組の教室と同じことやってるよ。何やってるのかな。」

花ちゃん 「なんでしょうね。 薫い紙とプリントがありますね。」

オー君 「プリントには、何か絵がかいてあるよ。文字も書いてあるよ。」

花ちゃん 「なんでしょうね。あ!オリオン座とか書いてあるわ。」

オー君 「冬の大三角形とも書いてあるよ。」

花ちゃん 「わかった。冬の星や星座について書いてあるんんだ。」

オー君 「でも、何をやっているのかな。モンタ博士に聞いてみよう。」

花ちゃん 「モンタ博士、子供たちと何をやっているのですか。」

モンタ博士「いまね、星のお勉強をしているんだよ。」

オー君 「星のお勉強?どういうことですか。」

モンタ博士「よく聞いてくれたね。屋のことが書いてあるプリントと黒い画用紙で、 『インスタントプラネタリウム』を作っているんだよ。」 花ちゃん 「『インスタントプラネタリウム』・・・?何ですかそれは?」

モンタ博士「よく聞いてくれたね。これはね、モンタ博士が考えたものなんだ。本に書いてあるとかではなくて、モンタ博士が一生懸命に考えたオリジナルの星のお勉強アイテムなんだよ。」

オー君「どんなものなんですか。」

モンタ博士「これはね、昼間でも使えるものなんだ。星の並び方や光り方などがわかるようになっているんだ。優れた傑作だと自慢なのですが・・・。」

花ちゃん 「どうやって作るのですか。どうやって使うのですか。」

モンタ博士「まず、画用紙の子にプリントを置き、はじっこをテープで止めるんだ。そして、屋のところに、がびょう、気、針などで穴を開けるんだ。大きな屋は大きな穴を、中くらいの屋には中くらいの穴を、小さな屋には小さな穴を開けて、できあがり。」

オー君「それからどのように使うのですか。」

モンタ博士「プリントをすらして、画用紙を朝るい方に向けてごらん。 梵から朝るい光が 見えるだろう。それが星ということさ。オリオン座の形とか、他の星の位置 とかわかるんだ。 名前はプリントを見ればいいのさ。」

花ちゃん 「わたしも作ってみたいです。使ってみたいです。」

モンタ博士「そのために下にその絵を用意したよ。大きく拡大コピーするといいよ。」

オー君 「よーし!作ってみるぞ。そして、いろいろと星を勉強するぞ。」

花ちゃん 「これから星天観察が楽しくなりますね。星を見るのは、『今でしょ!』ですね。」

